



Ampt 社ストリングオペティマイザは、5 大陸にまたがるトータル 5GWh 蓄電池の PV+DC ダイレクトリンク型システム分野で市場をリード

コスト、パフォーマンス、グリッドレスポンスにおける優位性で幅広く採用される Ampt ストリングオペティマイザ

Fort Collins, Colo. — 2021 年 5 月 — 大規模太陽光発電 (PV) システム市場において、世界一の DC オプティマイザ企業であるアンプト社は本日、トータル 5GWh の DC 結合型蓄電池システムプロジェクトのマイルストーンを発表しました。このマイルストーンにより [アンプト社](#) は PV+蓄電池システムのキープレイヤーとしての地位を確立しました。

アンプト社が提供するアンプトストリングオペティマイザは、PV+DC 結合型蓄電池システムのコストを削減、パフォーマンスの向上、グリッドレスポンスを改善するための DC/DC コンバータです。ティア 1 の PV デベロッパー、発電事業者は、ピークシフト、ピーカー発電所の代替、システムの安定化を目的としてアンプト社の製品を導入します。アンプト社のオペティマイザを使ったプロジェクトは、最大 6 時間使用可能な蓄電池と 20-200MW 規模の PV を組み合わせた PV+蓄電池システムです。

アンプト社の PV+蓄電池システムにおける差別化要因の一つに高電圧域での固定電圧 (HFVB) があります。PV+蓄電池システムの電力密度と効率が上がることで、Capex を大幅に削減することが出来ます。また、HFVB はシステム制御を簡素化出来るため、コストがかかり、効率が低い従来の AC 結合型蓄電池システムでは実現できないグリッドレスポンスを達成出来ます。

アンプトストリングオペティマイザの他の利点はストリングレベルでの最大電力点追従制御 (MPPT) です。システムの不マッチが原因の電力損失を回復させることで、太陽光発電システムの長期間に渡るパフォーマンス向上が可能になります。また、高過積載 (DC/AC 比最大 3:1) が可能なので、より多くの電力を蓄電池に充電することが出来ます。

「蓄電池システムを備えた低コストの DC 結合型太陽光発電システムによって、従来の化石燃料をクリーンエネルギーに変えることで、電力システムに革命をもたらし人命を救うこととなります。アンプト社はこの変革を加速させるため、業界をリードするプロジェクトデベロッパーやソリューションプロバイダーと協力しています。」とアンプト社の CEO である Levent Gun 氏は述べています。「アンプト社は継続的なイノベーションを通じてこの未来を実現することに取り組んでいます。」

アンプト社について

アンプト社は、新設、既設の PV システム、また PV+蓄電池システムのコストを削減し、パフォーマンスを向上させる革新的なテクノロジーを提供します。アンプト社の技術は世界中で使用されており、大規模 PV システムにおいて DC オプティマイザのトップ企業です。本社は米国コロラド州フォートコリンズにあります。北米、ヨーロッパ、日本に販売、サポート拠点がありアジア、オーストラリア、中東などの他地域もカバーしています。詳細については、www.ampt.com/ja/ をご覧ください。

お問い合わせ:

アンプトジャパン合同会社

近藤茂樹

info@ampt.com

###